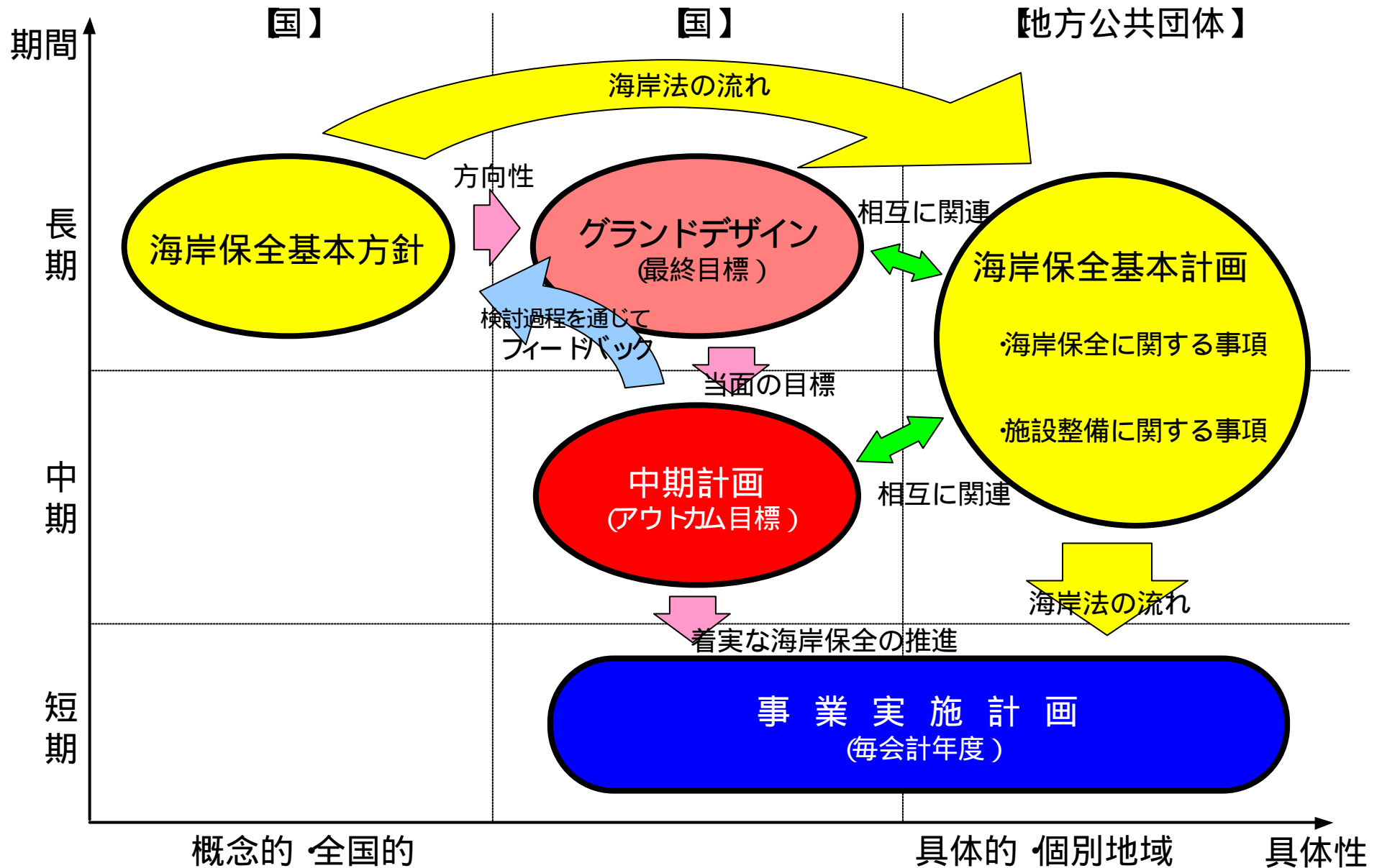


中期計画の位置づけとポイント

【説明資料】

平成 14年 6月 24日

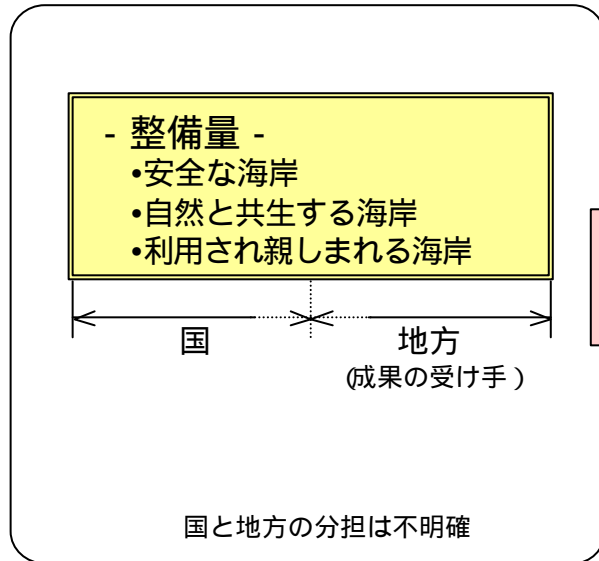
海岸保全の中期計画の位置付け



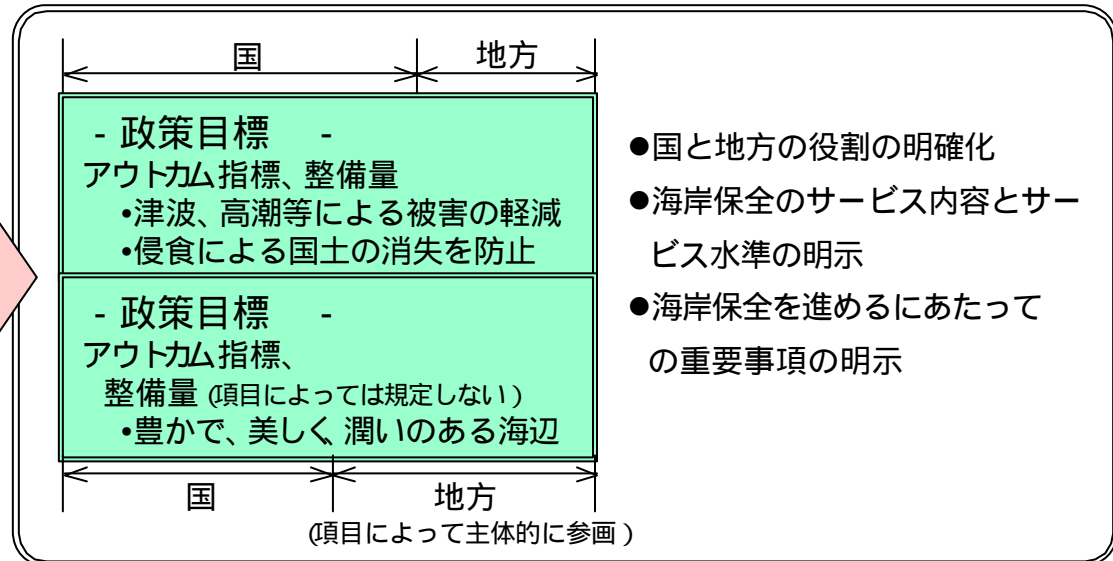
新しい海岸保全の中期計画のポイント

◆計画の内容におけるポイント

第6次海岸事業七箇年計画

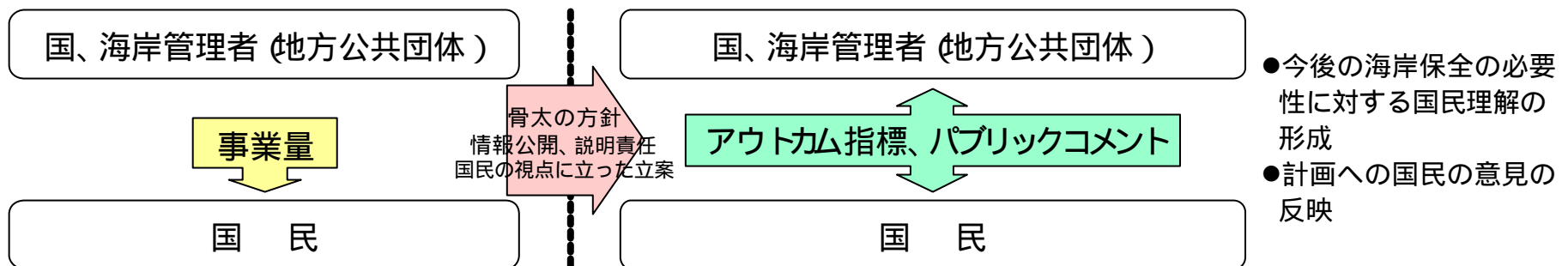


新しい海岸保全の中期計画



海岸保全基本方針
行政評価

◆策定の進め方におけるポイント



政策目標とアウトカム指標 (案)(1/2)

| 政策目標 (大項目) | 政策目標 [アウトカム] (小項目) | アウトカム指標 | 目標値 | | | 基本的方策 | 中期的な 具体的方策 | | |
|--|--|--|------------------|-------------------|------------------|-------------------------|---|----------------------|-----------------------------------|
| | | | 最終目標 | 中期目標 | 現状 | | | | |
| 人々は、津波、高潮、波浪などによる生命・財産・生活に関する被害が軽減される。 | 津波、高潮、波浪に対する防護のために必要な施設により、生命・財産についての所要の安全性が確保される。 | 高潮・津波による災害から一定の水準の安全性が確保されていない地域の人口・面積 | ゼロ | 万人 ha 現状の1/ | 万人 ha | 未整備地区における海岸保全施設の新設整備 | 海岸保全施設の新設(地区で実施、kmを整備等) | | |
| | | 既存施設の機能が不十分なため、危険度が残る人口・面積 | ゼロ | 万人 ha 現状の1/ | 万人 ha | | | 機能が不足する海岸保全施設の効果的な整備 | 暫定施設の早期完成、老朽化施設の更新(km中 km(%)を整備等) |
| | | 水門閉鎖時間など高潮に備える準備が完了するまでの時間が不十分な地区数・割合 | ゼロ | 地区 % | 地区 % | | | | |
| | 必要な情報が公開・伝達されており、住民は被災を軽減するための適切な行動をとることができる。 | 津波や高潮のハザードマップが作成されていない地区数・割合 | 高潮: 地区 津波: 地区 | 高潮: 地区 津波: 地区 | 高潮: 地区 津波: 地区 | ハード・ソフト一体による総合的な防災機能の強化 | ハザードマップの作成(津波:地区で実施、圏域の%を加へ、高潮:地区で実施、圏域の%を加へ等) 津波・高潮防災ステーション(地区で実施)安全情報伝達施設(地区で実施)、危機管理高度化事業(地区で実施)等 | | |
| | | 海岸の危機管理機能に資する情報施設等が整備されていない地区数・割合 | 地区 % | 地区 % | 地区 % | | | | |
| | 侵食に対する防護が行われ、貴重な国土が保全される。 | 侵食海岸において現状の汀線防護が完了していない延長 割合 | ゼロ | km % | km % | 広域的な観点に立った総合的な侵食対策 | 現状汀線の保全対策(護堤・人工リーフ等による砂浜の保全)(km中 km(%)を整備等) かつての汀線の回復(養浜等による砂浜の回復)(km中 km(%)を整備等) | | |
| | | 汀線の回復が必要な地区において回復が図られていない延長 割合 | ゼロ | % | % | | | | |
| | 大規模な地震にも耐えて機能を保持する施設により、生命・財産について所要の安全性が確保される。 | 耐震化が不十分な施設に防護されている人口・面積 | ゼロ | 万人 ha 現状の1/ | 万人 ha | 海岸保全施設の耐震化 | 施設の耐震化等を目的とした施設の更新(km中 km(%)を整備等) | | |
| | | ゼロメートル地帯において耐震化が不十分なため、地震・水害の危険度が高い人口・面積 | ゼロ | 万人 ha 現状の1/ | 万人 ha | | | ゼロメートル地帯の海岸保全施設の耐震化 | 施設の耐震化等を目的とした施設の更新(km中 km(%)を整備等) |

「所要の安全が確保」されているとは、各地域において適切に想定、推算した計画外力に対する安全が確保されていることをいう。

政策目標とアウトカム指標 (案) (2 / 2)

| 政策目標 (大項目) | 政策目標 [アウトカム] (小項目) | アウトカム指標 | 目標値 | | | 基本的方策 | 中期的な 具体的方策 |
|--|------------------------------------|--|-----------------|-----------------|---------------|-------------------------|---|
| | | | 最終目標 | 中期目標 | 現 状 | | |
| 人々は、人の暮らしと自然環境が調和した豊かで美しい海岸環境を享受し、それを後世に伝えることができる。 | 海岸が持つべき豊かで美しい環境が保全・回復される。 | 復元 創出された砂浜の延長 面積 | km ha | km ha | km ha | 砂浜の保全 回復 | 人工海浜(養浜、潜堤・人工リ-フ等)の整備(地区で実施、km(%)を整備等)、侵食対策等の実施(地区で実施、km(ha)で実施等) |
| | | 維持されている砂浜の延長 面積 | km ha | km ha | km ha | | |
| | | 後世に残すべき白砂青松等の優れた自然景観の数 | (箇所) | (箇所) | 箇所 | 白砂青松等の海岸の保全対策 | 砂浜、緑、景観の総合的な保全(地区で実施、km(ha)で実施等) |
| | | 保護・回復された貴重な生息生育空間の地区数 | (箇所) | (箇所) | 箇所 | 動植物が生息生育する環境の保全 回復 | 動植物の生息生育環境に配慮した海岸施設延長(地区(km)で実施) |
| | 海辺に親しめる環境が充実し、住民の日常生活に潤いが感じられる。 | 人々が海辺に親しむことができる海岸の地区数・割合 延長の向上、潤いの向上 | (地区 % km) | (地区 % km) | 地区 % km | 親水性を向上させる安全性を持った海岸施設の整備 | 親水性施設整備や立ち入り(アクセス)を可能とした施設整備(地区で実施、kmを整備) |
| | | 砂浜を有する海岸において、バリアフリー化された海岸の地区数 割合 | (%) | (%) | % | 海岸のバリアフリー対策 | バリアフリー対策(スロープ、安全施設等)の実施(地区(%)で実施等) |
| | | 例：住民等が環境や利用の向上に積極的に参加している海岸の地区数・割合の向上、参加内容の深化 | - | - | 地区 % | 住民等による環境や利用に関する活動の推進 | 清掃活動、マナー向上活動等 |
| | レジャー、スポーツ、自然体験等、多様な海岸利用を楽しむ場が充実する。 | 例：地先の海岸でレジャーやスポーツを楽しむことのできる地区数・割合の向上 | - | - | 地区 % | 海岸 海浜の利用条件を高める施設の整備 | 人工海浜等の整備、親水護岸、遊歩道の整備等 |
| | | 例：自然体験、環境教育など様々な活動の場として利用されている海岸の地区数・割合の向上、活動内容の深化 | - | - | 地区 % | | |

- 政策目標の実現に、国が主体的な役割を果たすものであり、アウトカム指標及びその目標値は、全国共通とする。
- 政策目標の実現に、国と地方が一体となって取り組むものであり、アウトカム指標は全国共通だが、その目標値は地域特性による(目標値を()書きで記述)。
- 政策目標の実現に、地方が主体的な役割を果たすものであり、アウトカム指標及びその目標値は地域特性による。国はアウトカム指標の例示や現状の状況等を提示する。